

科目名	社会行政論	科目コード	1249	単位数	2
担当者名	複数担当教員	開講セメスター	第6セメスター	開講年次	3年次

● 授業のねらい

公務員試験で出題される教養科目は「社会科学」・「人文科学」・「自然科学」と、かなり広い分野にまで及んでいるため、試験対策上は受験者間でかなりの差となって現れます。そこで一般知能科目も含め、演習問題を通して一気に全範囲を取り込み、大学入試程度の知識を再度確立し、本試験に向けた実践力を身に付けていきます。

● 到達目標

本講義では、教養科目の基本的な知識（インプット）や問題に対応できる技術（アウトプット）を習得することにより、解答を導き出すための手段を押しさえ、問題を解く応用力へと向上させることを目標とします。

● 授業内容

- 1週目 一般知能演習講義（判断推理）
- 2週目 一般知能演習講義（判断推理・数的推理）
- 3週目 一般知能演習講義（数的推理・資料解釈）+小テスト
- 4週目 教養過去問演習講義人文科学（日本史）
- 5週目 教養過去問演習講義人文科学（世界史）
- 6週目 教養過去問演習講義人文科学（地理）
- 7週目 教養過去問演習講義人文科学（思想・文学・芸術）+小テスト
- 8週目 教養過去問演習講義社会科学（法律）
- 9週目 教養過去問演習講義社会科学（政治）
- 10週目 教養過去問演習講義社会科学（経済）
- 11週目 教養過去問演習講義社会科学（社会）+小テスト
- 12週目 自然科学演習講義（数学）
- 13週目 自然科学演習講義（物理）
- 14週目 自然科学演習講義（生物・化学）
- 15週目 自然科学演習講義（地学）+小テスト
- 16週目 やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行います。

● 準備学習(予習・復習)等の内容

予習中心の学習ではなく、週3時間以上復習中心の学習をするように心がけてください。どこが重要であるのかよくわからない段階で予習したとしても、特に教養は範囲が広いのであまり効率的ではありません。講義で扱った重要な部分を中心に復習する方が、より効果的であり、また効率的な学習方法であるといえます。

● 成績評価の方法・基準

全15週中で分野毎に計4回の小テスト（全回合わせて合計100点）を実施します。  
全回の小テストの合計100点を評定の素点として成績を評価します。

● 履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法

社会行政論～の単位を修得している者でなければ、この講義は履修できません。また、提出された小テストは、その点数のみ、次回講義内で各自にフィードバックし、講評および解説はプリントとして配布致します。

● テキスト

特になし。講義分野毎にプリントを配布して講義を実施します。

● 参考書

- 公務員Vテキスト各税別¥2,000（TAC出版）
- 19「自然科学」、20「社会科学」
- 公務員Vテキスト各税別¥2,200（TAC出版）
- 21「人文科学（上）」、22「人文科学（下）」

● 更新日付

2019/02/25 04:36